

大阪工業大学 正員 ○ 福田 譲
(株)白石基礎 正員 小川敬次郎

1. まえがき 土の圧縮・圧密試験においては、載荷時、供試体とリングの間に摩擦抵抗力（以後、摩擦力と呼ぶ）を生じる。本実験では、固定されたリングに試料を入れ、下部にロードセル（荷重計）を取り付け、載荷荷重と供試体を通じてロードセルに伝わる荷重との差から、リング壁面の摩擦力を求めようとしたものである。このよう摩擦力は通常、リング内にある供試体の応力履歴にも影響を与えるものと考えられるので、正規圧密状態と過圧密状態に分けて考えることとした。本報告では、マサ土を用い、主として不飽和な正規圧密状態の試験を中心に、初期的実験結果について述べることにする。

2. 実験装置・試料 図-1に実験装置を示す。本装置

の主要部分は、供試体を入れるリングとロードセルである。図のように固定されたリング内にある供試体は、加圧板を介して載荷される。この載荷荷重 P_1 は供試体を通じて底板を介してロードセルに伝わり、反力 P_2 として表われる。したがって、上記 P_1 と P_2 の差が、供試体とリング壁面の間に生じた全摩擦力 F といふことになる。実験に用いたリングは直径 10cm、高さ 2.0, 3.0 および 6.0cm の 3 種である。用いた試料は、生駒山産の比較的風化の進んだマサ土 ($W=10\%$ 、自然含水比程度) を使用した。

3. 実験結果 図-2 に正規圧密状態の実験結果を示す。図のように、供試体の初期厚さ H が大きほど $P_1 - P_2$ の値、つまり F は大きくなることがわかる。ここで、単位面積当たりの上載荷重 σ_u (%) と、リングと供試体の接面における単位面積当たりの摩擦力 f (%) と関係をみると、図-3 のようになる。これによると、 H が異なると、若干の差異はあるものの、ほど大さな差はない。そこで、図-4 は載荷荷重 P_1 に対する摩擦力 F の比率を表わしたものである。この図からわかるように、 P_1 が小さい領域では、 $F/P_1 \times 100$ (上載荷重に対する摩擦力の比率) の値は小さくなり、 P_1 が大きくなるにつれ、その値は大きくなる。これは、図-5 に示す供試体の垂直変位 D から、供試体の圧縮变形の大小と関係があるものと思われる。 H の異なる各試験において、いずれも P_1 の小さな領域では、供試体の圧縮变形の大きいところ、变形に伴う摩擦力が大きくなり、 $F/P_1 \times 100$ の値は大きなものと考えられる。そして、 P_1 が増大するにつれ、供試体の圧縮变形は小さく

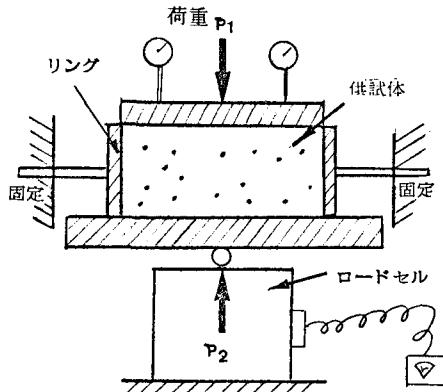
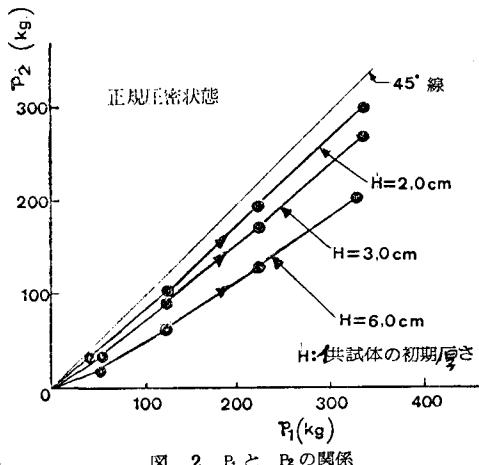
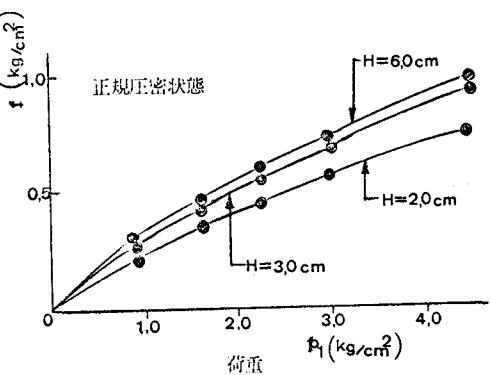


図 1 実験装置

図 2 P_1 と P_2 の関係図 3 F と P_1 の関係

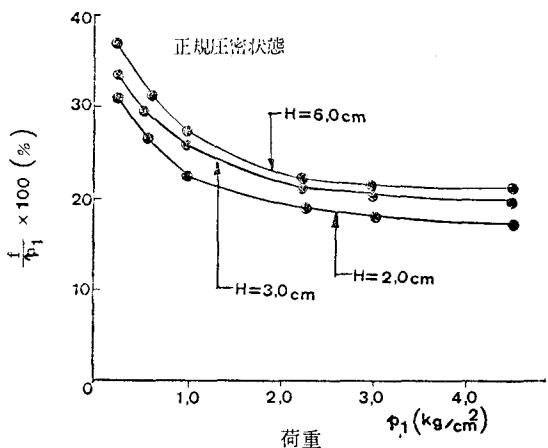


図 6 荷重と単位面積当りの壁面摩擦力の比率

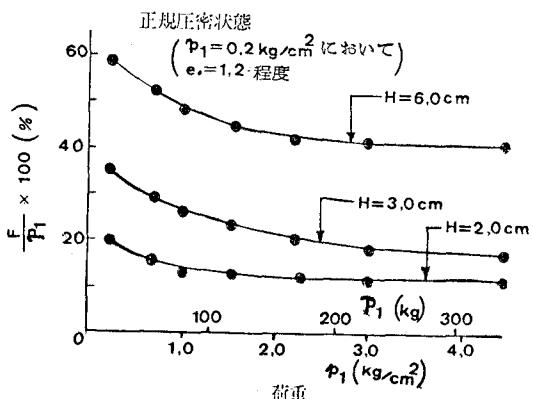


図 4 荷重と摩擦力の比率

くなることから、変形に伴う摩擦力は減少し、そして $F/p_1 \times 100$ の値もほとんど変わなくなるものと思われる。ここで、 p_1 と $f/p_1 \times 100$ (上載荷重に対する単位面積当りの壁面摩擦力の比率)についてみると、 H が異なつても、 p_1 が同じであればその値はあまり変わらないようである(図-6)。

次に、過圧密状態の試験結果例を図-7に示す。この例は、 4.5 kg/cm^2 の先行荷重をかけ、除荷したもので、 $p_1 = 2.0 \text{ kg/cm}^2$ までの除荷の段階では、上向(ニニでは正とする)に作用している摩擦力は減少する。そして、 p_1 が 2.0 kg/cm^2 以下の除荷の段階になると、摩擦力は方向が変り下向(ニニでは負としている)に作用し、その値は増大するが、 p_1 が 0.65 kg/cm^2 以下になると、 p_1 の減少とともにその値は0にむかう。ニのように、先行荷重の大きさを過圧密状態の供試体においては、除荷に伴って摩擦力が減少し、ある荷重に達するとその方向がわかるのは、実験の結果から供試体自身の膨張にも関連があるように思える。しかし、本実験では、除荷に際し、ロードセルによる供試体の押上げの影響も考えらるるので、上述のニヒは今後さらに検討の要するところである。

4. あとがき 以上、マサ土を試料として正規圧密状態の試験結果を中心に述べたが、今後はリンドの径盤試験料とかえ試験を行なう予定である。また、ニニで過圧密状態の壁面摩擦力の挙動は、とくに複雑で、これは今後さらに深く追究する必要があると考える。

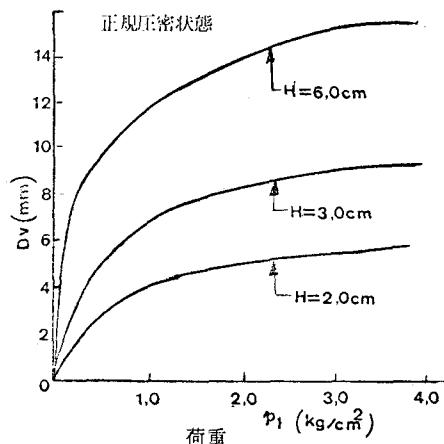


図 5 圧縮変位

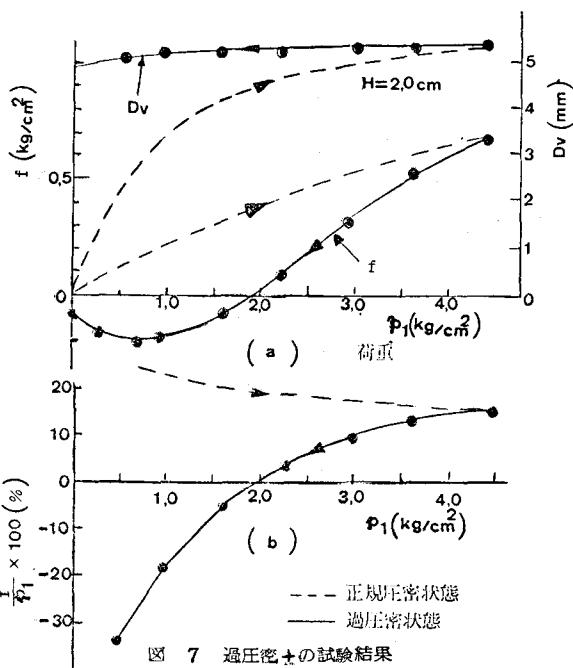


図 7 過圧密土の試験結果